

《コロナ禍の学生美術展》

止まった時代の主人公たち

～1945×2021～



戦争、コロナ。

それでも表現し続ける画学生たちがいる。

開催期間：8月19日～8月29日

戦没画学生慰霊美術館・無言館/信濃デッサン館別館・槐多庵にて

所在地：長野県上田市古安曾山王山 3462

主催：学生団体コエテコエ

《コロナ禍の学生美術展》

止まった時代の主人公たち～1945×2021～

今回の開催にあたって

新型コロナウイルスが猛威を奮い始めてから、早くも2年が経とうとしています。世界中を取り巻く未曾有の異常事態。行きたいところに行けず、会いたい人に会えない。こんな状況がいつまで続くのか、不安ばかりが募る。ひょっとしてこの状況は、第二次世界大戦中の人々の生活と、重なるものがあるのではないか。これが、この美術展開催のきっかけです。

舞台は、長野県上田市にある戦没画学生慰霊美術館『無言館』。第二次世界大戦下、戦地に送られ、帰らぬ人となった若者たちの作品が、ずらりと並んでいます。画家になることを夢見て、時代に翻弄されながらも絵を描き続けた彼らの生きた証が、心に刻まれます。しかし、悲しいかな、悲惨な戦争の記憶から76年を経た今、この無言館の来場者数は減少の一途を辿っています。

この美術館で、新たな国難の中、絵を描き続ける学生の美術展を開くこと。戦禍とコロナ禍、似て非なる状況を対比し、考察すること。それは、先の見えないこの状況に光をさすとともに、戦争のことを今一度見つめ直すことに繋がると期待しています。ぜひこの機会に、戦禍とコロナ禍、2つの時代の主人公たちの珠玉の作品の数々をご堪能下さい。

主催団体「コエテコエ」

私たちコエテコエは「時代・国境・性別・障がいなどの、ありとあらゆる壁を越えて、届かぬ思いを声にしていく」ことを目的に活動しています。始まりはこの無言館から。私たちにとって初めての大きな企画になります。ぜひ皆様に届かぬ「声」がお届けできますように。

学生団体 コエテコエ

【アクセス】

戦没画学生慰霊美術館 無言館／信濃デッサン館 槐多庵
所在地：長野県上田市古安曾山王山 3462

電車：JR「上田駅」にて乗り換え、上田電鉄別所線「塩田町駅」から徒歩30分。

または「下之郷駅」からシャトルバスあり。（4月1日～11月30日）

車：上信越道・上田菅平ICより約35分／長野道・岡谷ICよりR142経由約1時間

タクシー：JR北陸新幹線／上田電鉄別所線「塩田駅」から10分